

LFSIX-32 ラベルフィーダー 取扱説明書

対応機種 LFSIX-32

お問い合わせ

Tel / WeChat +86 134 2139 1163

Email sales@baxida-tech.com

ラベルフィーダー—Siemens x32 フィーダー 取扱説明書 USER INSTRUCTIONS

★ ラベルフィーダーの主な概念 ★ ラベルフィーダーの外観構造 ★ ラベルフィーダーの材料通し方法 ★
ラベルフィーダーの操作説明 ★ ラベルフィーダーのアフターサービス保証

お客様各位：当社が開発・製造したラベルフィーダーをご購入いただき、ありがとうございます。本製品の使用方法をできるだけ早く習得していただくため、この取扱説明書を特別に作成いたしました。ここから、当社のラベルフィーダー製品に関する重要な注意事項、外観の詳細、操作説明、保守・メンテナンス方法などを得ることができます。本製品をご使用になる前に、ぜひ一度よくお読みいただくことをお勧めします。それが本製品をよりよくご使用いただく助けとなります。私たちは、この取扱説明書に記載されている情報が正確で信頼できるものであるよう最大限の努力を払っています。もし漏れや誤りがありましたら、ご指摘いただければ幸いです。感謝申し上げます。本製品は非標準のカスタム品でもあるため、お客様のご要望に応じて製品のハードウェアにいくつかの改良やアップグレードを加えることがあり、その結果、本取扱説明書の内容と実物に差異が生じる場合があります。実物を基準としてください。ただし、これは本製品のご使用に実質的な影響を与えるものではありません。ご了承ください。ご協力ありがとうございます。本製品を正しく使用するため、この取扱説明書を大切に保管し、いつでも確認できるようにしてください。本製品は専門の技術者による修理が必要です。問題がある場合は、速やかに当社までご連絡ください。

重要注意事項

1. フィーダーを直射日光やその他の熱源に直接さらさないでください。
2. 本機の動作電圧は24V、電流は2Aより大きい必要があります。また、大電力の電気機器と同じ電源プラグに接続しないでください。
3. 乾燥した/柔らかい布（揮発性物質を含まないもの）でフィーダーを拭いてください。
4. 不安定な場所、溶剤、酸・アルカリ、水浸し、または湿気の多い環境に接触または暴露させないでください。
5. 虫食いやネズミのかじり、異物の侵入などによる製品または部品（外殻、LEDスクリーン、イネース、電子部品の配線など）の破損、錆び、損傷などを避けてください。



6. 当社が認可していない機関または人員による取り付け、修理、追加、または分解を行わないでください。

輸送及び受け取り確認

お客様が受け取る商品が完全であることを確保するため、商品受け取り時に、運送業者と対面で開梱し、製品に輸送中の損傷や欠品がないことを確認してから署名してください。輸送中の損傷や欠品がある場合は、署名しないでください。商品、商品の梱包材及び付属品をそのままの状態で保管し、直ちに当社にご連絡ください。受け取り当日に需要者が受け取った製品に異議がない場合、検収合格とみなし、当社は貨物損傷の責任を負いません。（契約に別段の定めがある場合を除く）

フィーダー概要

ラベル取り付け軸スリーブ 巻線ローラー軸 タッチスクリーン 排出台 廃材回収ロール 押さえカバー引き棒 材料ロールガイドブロック

（そのうちの1モデルを例として紹介します。モデルによって一部構造が異なります。具体的には実物を基準としてください）

フィーダーの適用範囲

3.1.1 紙製ラベルであれ、FPC補強鋼片、各種マイラー粘着テープ、発泡材、防塵メッシュ、高温粘着テープなどであれ、各種巻式材料はラベルフィーダーを使用できます。 3.1.2 材料サイズの互換性が高く、1台のラベルフィーダーで最大サイズ以内のすべてのサイズの材料に対応でき、同時に単列または複数列をサポートし、機械の使用効率を最大限に実現します。 3.1.3 巻式フィーダーは主に包装、3C、FPC、電子業界に应用されています。 3.1.4 別途ラベリングマシンを購入する必要はなく、ラベルフィーダーとチップマウンターを組み合わせることで貼付作業を実現できます。

ラベルフィーダーのテープ通し方法

材料ロールはラベル取り付け軸スリーブから始まり、巻線軸を経由します。材料ロールの左右の振れを防ぐため、ストッパーリングで材料ロールを位置決めする必要があります。

ラベルガイド幅制限スライダー（六角レンチで内部のイモネジを緩め、材料ロールの幅に応じてガイドブロックを適切な位置に移動できます）を通し、押さえ片を通します（押さえ片の4本のイモネジを緩めたり締めたりして、ラベルの厚さに応じて高さを調整できます）。

押さえカバー撥杆を下に押し、押さえカバーを開けます。材料ロールは押さえカバーと駆動軸の間に挟まれ、押さえカバーを押し下げてラベルを締め付けます。

最後に、空の材料ロールは廃材テープ回収軸スリーブを通して回収されます。

★注意事項： テープの角度方向はまっすぐに保つ必要があります。 剥離しにくい小さなラベルは、剥離ブレードの方向を変更し、角度のより小さい面に換えて使用できます。

ラベルフィーダー光ファイバーセンサー操作説明

一、光ファイバーセンサーの外観

- ①ラベルが光ファイバーポイント上にあるとき、光ファイバーアンプは対応する検出値を生成します。
- ②光ファイバー動作設定値 > 光ファイバー検出値で且つランプ点灯時、材料ありを検出；光ファイバー動作設定値 < 光ファイバー検出値、材料なし状態。図中の200は光ファイバー動作設定値であり、動作設定値は材料なし状態より200大きくすればよいです。

光ファイバーセンサー 動作設定値 光ファイバー検出値

二、ボタン説明

光ファイバー動作設定値を大きくします。 光ファイバー動作設定値を小さくします。

三、使用説明

ラベルフィーダーディスプレイ操作説明

一、ディスプレイ使用説明

- ①動作モード 自動：生産モード；手動：生産停止、材料投入・交換用；
- ②供給位置：供給距離を調整し、ラベルの大きさに応じて適切な送り距離を調整します。（ラベルが上に反ったり送りすぎの場合、供給位置が大きすぎます。ラベルが送り不到位の場合、供給位置を増やせます）；
- ③供給速度：ラベル剥離が完了している状態で、速度を上げるか下げるかに応じて、供給位置を相対的に微調整する必要があります。貼付速度を追求しない場合、30-50に設定すればよく、供給の安定性を保ちます；
- ④供給遅延：つまり1つの材料を送り終えてからしばらくして次の材料を送ります。単位は0.1s（マニピュレータの取り出しが遅く、ラベル送りが速い場合、遅延を設定できます）；
- ⑤生産数量：ラベルが1列送り出されるごとのカウント。長押しでクリアして再カウントできます。

：手動モードで、ラベルを1回送ります；手動モードで、材料ロールが少し後退します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に減少します。：手動モードで、材料ロールが少し前進します；自動モードでこのキーを押すと、供給位置の数値が自動的に増加します。：パラメータ設定、中国語・英語形式を設定可能、ラベリングマシンとの通信信号を設定可能（信号線の接続が必要）。

アフターサービス保証条例

製品の保証期間はご購入日から起算し、保証期間は1年間です。保証期間内に、製品自体の品質により正常に動作しない場合、当社は無償の修理サービスを提供します。以下の場合、無償修理は提供しません：

一、製品または部品が対応する保証期間を超えている場合； 二、誤ったまたは不適切な使用、保守、保管による故障または損傷。例：不適切な運搬；製品の合理的な予期される用途に従わない使用；外部機器の不適切な抜き差し；落下または不適切な外力による衝撃・圧迫； 三、不適切な温度、溶剤、酸・アルカリ、水浸し、または湿気の多い環境への接触または暴露；または異物の侵入による製品または部品の破損、錆び、損傷など 四、当社が認可していない機関または人員による取り付け、修理、変更、追加、または分解に起因する故障または損傷； 五、不可抗力または偶発事件による故障または損傷。

保証期間満了後および無償保証条例に該当しない設備についても、ユーザーは当社の修理サービスを受けることができますが、状況に応じて部品代及び修理費用を申し受けます。製品出荷前に、貴社から提供されたサンプルに基づいてパラメータを調整します。通常、製品を受け取った後、電源に接続すれば使用できます。操作方法が不明な場合は、当社技術者によるオンライン遠隔操作指導を行います。部品交換が必要な場合は、製品を物流で返送していただく必要があります。